

2020年度 第2回 JSR 編集委員会

日時：2020年9月30日（水）19時

場所：オンライン（Zoom）会議

出席予定：長谷川 和宏（担当理事）、大島 寧（委員長）赤澤 努、明田 浩司、今城 靖明、鈴木 亨暢、高野 裕一、竹内 大作、高畑 雅彦、二階堂 琢也、長谷 齊、福岡 宗良、川口 善治（アドバイザー）

陪席：事務局／鈴木 杏林舎／片山、鶴間、明松

報告事項

- 1 前回 JSR 編集員会議事録について（資料 1）
- 2 JSR 投稿・掲載状況（資料 2）
- 3 個人情報等の確認のお願い
- 4 メール配信開始と追跡調査について（別資料 1）

議事次第

- 1 12 卷 1 号と 2 号の合併について（資料 3）
- 2 12 卷 12 号の発行について

資料 1

2020年度 第1回 JSR 編集委員会

日時：2020年6月25日（木）18時～19時

場所：オンライン（Zoom）会議

出席：長谷川 和宏（担当理事）、大島 寧（委員長）、川口 善治（アドバイザー）、
明田 浩司、今城 靖明、鈴木 亨暢、高野 裕一、竹内 大作、二階堂 琢也、長谷 齊、
福岡 宗良

欠席：赤澤 努、高畑 雅彦

陪席：事務局／鈴木 杏林舎／片山、鶴間、明松

審議事項

1. 脊椎脊髄病学会（1、2、5、9号）の今後の発行について

→各委員から特別な意見はなく、論文数をみて判断することで合意した。

2. 各関連学会における問題点

→今年度は学術集会を待たずに論文の依頼をすることで合意した。

3. JSSR 会員向け郵送物について（優秀論文についてなど告知事項の検討）

→郵送物の内容については大島委員長に一任とした。今後のメール配信については鈴木氏を通じてお願いする方針とした。

4. その他

JSRにてJSSRの委員会報告書など会員全員に周知する必要があるものを掲載してはどうか。

→掲載方法によっては投稿規定の修正の必要もあるため詳細は今後メール審議で詰めることとなった。

今年の掲載数やコロナウイルスの影響を考えるとJSSR優秀論文賞を選出する事が難しい可能性がある

→まずは原稿依頼を呼びかけその結果を見て判断することにした。

資料 2

第 11 卷 1～9 号 掲載状況

掲載号：学会名	論文種					掲載数 合計
	総説	原著	症例	テクニカル ノート	Editorial	
1：日本脊椎脊髄病学会	0	4	0	0	1	5
2：日本脊椎脊髄病学会	2	2	0	0	1	5
3：抄録号	(学術集会 2020 年 9 月に延期)					
4：東海脊椎脊髄病研究会	0	4	9	0	1	14
5：日本脊椎脊髄病学会	2	7	2	0	1	12
6：日本腰痛学会	2	9	0	0	1	12
7：日本脊椎・脊髄神経手術手技学会	0	4	4	1	1	10
8：日本低侵襲脊椎外科学会	0	10	3	0	0	13
9：日本脊椎脊髄病学会	0	6	0	0	1	7
10：日本脊椎インストラメンテーション学会	0	0	0	0	0	0
11：日本側彎症学会	0	0	0	0	0	0
12：西日本脊椎研究会	0	0	0		0	0
合計	6	46	18	1	7	78

個人情報等の確認のお願い

原稿は患者様のお名前や個人を特定できる可能性のある ID や日付等は全て削除の上ご入稿をお願い致します。

メール配信開始と追跡調査について

別資料をご確認ください。

※資料は機密資料となっております。取り扱いにはご注意ください。

資料 3

◆12 卷 1 号と 2 号の合併について

9/18 現在、採用済 4 本・査読中 2 本（初回投稿 2 本）
症例報告 1 本のみで他は原著論文となっています。

- 1、12 卷 1 号を合併号として 2 号は発行しない。
- 2、12 卷 1 号、2 号をそれぞれ発行する。
（掲載数は Editorial を含め各 3 本予定となります）

※11 月上旬には 12 卷 1 号分を入稿する必要がある為、今回の会議にて決定をお願いします。

◆12 卷 12 号の発刊について

西日本脊椎研究会は例年 6 月と 11 月の 2 回/年開催され、発表演題は担当世話人が考えたテーマとなります。演題の中から投稿いただいた論文が翌年の JSRVol12 に掲載されます。しかし、COVID-19 の影響で 2020 年 6 月と 11 月の研究会が 2021 年に延期となりました。そのため、2021 年 JSRVol12 に掲載する論文がございません（今城先生より）

- 1、12 卷 12 号の発刊を中止する。
- 2、論文の掲載数は気にせず 12 号を発刊する。